

東大阪市住工共生まちづくり検討地域懇談会の実施結果（中間報告）

住工共生まちづくり条例の検討に資するため、市域から広く意見を聴取するため開催した。

主催：住工共生のまちづくり施策検討・推進委員会ワーキング部会

参加資格：(1) 東大阪市民であって、平成24年4月1日現在20歳以上であるもの。  
(2) 東大阪市内に勤務または通学しており、平成24年4月1日現在20歳以上であるもの。

開催実績：東地区 8月8日（水）ふれあいホール 参加者7名  
中地区 8月21日（火）イコーラム 参加者4名（この他にオブザーバー1名）  
西地区 8月29日（水）市民会館 参加者

テーマ：(1)住工共生のために市が行うべき施策、役割  
(2)住工共生のために市民・事業者が担う役割  
(3)市民と事業者のコミュニティ創設のための方策

テーマ	出された意見
(1)住工共生のために市が行うべき施策、役割	<p>(東地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準はクリアしているが納得していただけなかったので、機械の下にラバーを敷いたり、騒音問題については二重サッシや防音壁をして、それ以後は納得してもらっている。企業として目に見える形で対応することで納得してもらえるので、そのあたりを市から助成してもらえるとありがたい。</li> <li>・工場の横に住宅が建たないようにしてもらいたい。住宅地と工場地ははっきりと分けるのがいいと思う。新たな設備投資もしにくい。</li> <li>・クレームがあって、防音壁を立てた。炉を数機買えるくらいの投資をした。うん千万の補助も無理だろうから倉庫がどいたら廃業ということも頭の片隅にある。東大阪全体で考えるとまだ間に合うとも思う。</li> <li>・後から来られる住民側の方々も防衛の為に例えば防音壁を建てるなど、用途に望まれる以外の建物には対策を義務付ける必要がある。</li> <li>・住工共生条例の策定は結構なことだが、もっと早く策定すべきであったと思う。ただ、作るからには徹底的にやって欲しい。</li> <li>・特に住工の問題は騒音と振動と考える。当社地域は昭和48年ごろ用途地域の変更があり、工業系地域から住居系地域に知らない間に変わってしまった。それ以降は設備増強も出来ない、工場の建て替えも出来ない。どうすればいいのか。住宅地に取り残されている工場をないがしろにするのは腹立たしい。我々のような工場に対して支援を願いたい。</li> <li>・注文が多くても近隣への配慮から午後8時には機械を止めている。住宅に取り残されている工場を切り捨てるのではなく、市として考えてほしい。</li> <li>・隣にマンションが建ったときに入居者からここは騒音が出るので承知した上で買ってくださいと判をもらった。しかし匿名で苦情がある。インフラ整備がなされるということだったが延び延びになっている。行政として計画を速やかに実行するようにしてほしい。</li> <li>・現在の場所での操業継続は困難で移転しかないと考えている。それにも金銭的支援が一番である。</li> <li>・従業員の約80%は市内に住んでおり、町の活性にもなっている。</li> <li>・一番困ったのがISO14000が取れないこと。申請はできるが許可が取れない。ごまかすしかない。公害対策課に相談してもそっけなく対応された。</li> <li>・苦情を言われたときに具体的な対応・支援をやってほしい。</li> </ul>

	<p>(中地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろんな企業が地域にはあるが、どの地域にどういう企業があるか一目でわかるマップがない。市民も事業者もわからないというのが元凶。市民にこういう企業があるというのをアピールすべき。それを小中高校に配って知ってもらうのがよい。</li> <li>・それぞれが個々に苦情に対応するのはプレッシャーである。こういった相談窓口がない。行政がやるべき。</li> <li>・当社のまわりには準工もあれば住居系もある。用途地域の決め方と現状が合っていない。工業地域のとなりが住居地域になるのではなくて段階的にしてほしい。</li> <li>・隣の畑が住居地域となっている。(当社のある)ここが住居地域となるのがこわい。</li> <li>・建売り住宅を買う人は日曜に来る。(工場が近隣にあることの影響を)をわかっていない人もいればわかっていて住む人もいる。</li> <li>・この辺りもベッドタウン化して関係性の少ない人が住むようになった。市として販売業者にどこまで責任を負わせられるか。</li> <li>・用途地域別に応じて住宅と事業所の比率を決められないか。</li> </ul>
(2)住工共生のために市民・事業者が担う役割	<p>(東地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題2 - 2の(1)は当たり前のこと。(2)(3)については自分自身苦手なところ。(4)についてはバザーをやったりというのも聞いている。(5)は夜勤もあるので市内の方を雇っている。</li> <li>・(4)についてはコミュニティが図れて良いこと。盆踊りでもしたらいいのと思う。できることをやれればと思う。</li> <li>・(1)についてはISO取得などで役割を果たそうとしている。(5)については市内の近くの人を雇っている。パートはハローワークなどで募集しているが、なかなか良い人材が集まっていない。(4)は日下小学校の児童に工場見学してパネを作っているところを見てもらったことがあるが非工場見学は良いことだと思ったが万が一の事故のことを考えて流れた。余裕があれば見学用通路を作るなどしたい。何かあったらイメージがわるくなるのではと考えた。(4)については会社近くにできたマンションに住んで積極的にコミュニティを図っている。地域の方に工場を知ってもらえる施策があればありがたい。常に喜んでもらえた。</li> <li>・戸田市でされているような看板は良い。知ることで感情的なハードルが下がる。</li> <li>・工場見学について非常に好評で企業側としても努力するので学校も協力してほしい。</li> <li>・モノづくりがなければ市民生活も成り立たないということを理解してほしい。我々も関係法令も守るが、守ろうとするとお金が関係する。市には支援を願いたい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員には地域貢献をするよう指導している。しかし、引っ越して来た人は子供会にも入ってくれない。</li> <li>・業者とは協定書を交わしており、業者は住民に説明しているはずだが、あまりちゃんと聞いていないのではないかと思う。</li> <li>・建て売り屋は売りっぱなし。条例の中に住まれる人と直接協定を結べるようなことを入れることも一つの方法かもしれない。</li> </ul> <p>(中地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 - 2の(1)はなんとなくのイメージで工場には良い印象を持たれていない。(5)の地域雇用は当社は30%は市内からなので貢献できていると思う。(2)から(4)はしないといけないうちが当社では弱い部分だ。工場見学は良いのか、悪い方へいくのか。</li> <li>・(1)は急に用途地域が変更されないとも限らない。努力をすることは基本。</li> <li>・(4)のコミュニティについてはもともとの顔が見える関係から見えにくくなってきている。</li> <li>・(3)の情報発信については、小中学校で自社の事業内容をPRできないかと思う。住むだけという感覚はやめてほしい。工業高校の先生は地域にいっぱい企業があるのにみんな他所へいくと嘆いていた。</li> <li>・副読本を充実して地元のことを知らせたい。</li> <li>・地元の小学校の社会見学は効果がある。東大阪の地場産業などのことが家庭で話をされるとするのは大きい。</li> </ul>
(3)市民と事業者のコミュニティ創設のための方策	<p>(東地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社をPRしても地域の方が受け取っていただけるのかと思う。ケーブルテレビで順番に紹介していただくとか。地元の方にも理解していただけるのではと思う。</li> <li>・看板の件、行政で立ち上げてもらえればと思う。匠と名乗ってよいのかなど基準は市で設けたらいい。</li> <li>・市政だよりも企業紹介のコラムを掲載してもらえるとありがたい。</li> <li>・布施駅の物産展示や各リージョンでも展示をやっている。これも地域の方に知ってもらえる取り組み。大きい製品ならパネルで展示するなど。</li> <li>・PTA会長を受けたり、親族でいろいろやってきている。枚岡伸線工業会で排水路を作ったが、その後自社処理をすることになって、下水道管として使用してもらっている。それも一つの歴史として地域にPRしてほしい。</li> <li>・住工の相互理解が一番手っ取り早いと思う。</li> <li>・住宅に入る人と工場ではその立場が違うからうまくいかないが、住宅会社は慣れているからそのあたりはうまくやってくれると思っていた。だが、結局工場が矢面に立たなければならないと感じた。しかし、地元建</li> </ul>

	<p>築業者とはうまくいった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレートなどによる工場の見える化は非常に良いと思う。</li> <li>・中小企業は自社PRが下手である。PRを支援するための施策も考えてほしい。</li> </ul> <p>(中地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だよりで情報掲載するなどよいのでは。</li> <li>・工場を屋上緑化して周辺の方に世話してもらえたら涼しくなってコミュニケーションもつながるしそれを支援してもらえたらありがたい。</li> <li>・見える化看板については、東大阪ブランドのがここまでいってないのが不思議。</li> <li>・近所の方に働きに来てもらうのが相互理解につながるのでベスト。主婦の方はよく宣伝していただけるのでありがたい。</li> <li>・(資料にあるような) こういう視点は欠けていた。双方が被害者意識だったかも。これからこういうことをやっていきたい。地域の清掃はやっている。ご挨拶しても以前は反応がよくなかったがこういう活動をするようになってからよくなってきた。</li> </ul>
(4)その他	<p>(東地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この取り組みをあきらめずにやってほしい。</li> <li>・道路、排水、水路を暗渠にするとかのインフラ整備をやってほしい。こういったことで住んでいる方のイメージも変わってくる。</li> <li>・若い人の就業支援や、育成支援も望む。</li> <li>・やはり、近隣住宅に気を使って操業している。現在は、いつ何か言われるか不安である。安心して操業できると言う事は安心して住めるということではないか。やはり相互理解が大事と思う。</li> </ul> <p>(中地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレームを言うのは地域全体でも特定の人。どこに重心を置くかで変わる。</li> <li>・地場産業のすばらしさを伝えないと。知らないのは逆にかわいそう。</li> </ul>